

大学の世界展開力強化事業 取組概要 神戸大学

【構想の名称】(選定年度24年度(申請区分(I)))

ASEAN諸国との連携・協働による次世代医学・保健学グローバルリーダーの育成

【プログラムの目的・養成する人材像】

神戸大学及び大阪大学の世界標準の教育を基盤に、ASEAN諸国との連携・協働により、ASEAN諸国の課題への的確な問題解決能力及び英語による実践的コミュニケーション能力を有する、医学・保健学グローバルリーダーとして活躍できる医師、教育研究者、高度医療専門職者、医療産業人を養成する。

【構想の概要】

神戸大学、大阪大学、インドネシア大学、ガジャマダ大学、アイルランガ大学、マヒドン大学、チェンマイ大学を中心にコンソーシアムを構成し、ASEAN諸国との連携・協働により、短期間の派遣プログラム、単位を認定する交換留学及び博士課程の学位取得プログラムという多層的な派遣・受入交流プログラム等を企画・展開する。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

○ 交流プログラムの質の保証

外部評価委員による事業についての客観的な評価を受け、反映させることで事業の改善に取り組んでいる。コンソーシアム運営委員会により、派遣・受入済み学生の遠隔授業システムを用いた公開発表会およびプログラム反省会を行い、事業に反映させている。臨床実習への留学生受入カリキュラムを整備し、公開に向けて準備を進めている。

○ 博士課程におけるダブルディグリープログラム実施に向けた取り組み

博士課程におけるダブルディグリープログラム実施について、コンソーシアムメンバーのガジャマダ大学医学部との間で合意を得ている。現在は、細部について実施に向けて協議中である。マヒドン大学からも同様の提案があるので、検討中である。

(派遣前教育・研修会)



■ 交流プログラムの内容、今後の開始に向けた準備状況

○ 交流プログラムについて

コンソーシアム各大学の施設において、学部学生の4週間の病院実習、大学院生の3~6ヶ月の研究プログラムによる派遣・受入を行なった。博士学位取得プログラムの学生を受入れた。短期プログラムに参加した留学生が本学での博士学位所得を希望するように指導している。感染症・遺伝病・再生医療などのトピックについて、日本人及び外国人による講義・シンポジウムを、双方向遠隔授業システムにより開催した。

○ 今後の開始に向けた準備状況

コンソーシアム以外の大学との間で、学生の派遣・受入に向け、交流協定の締結を進めている(パジャジャラン大学、ディボネゴロ大学、フィリピン大学マニラ校、チッタゴン医科大学など)。

(双方向遠隔授業システムによるシンポジウム)



■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

平成25年度は、マヒドン大学に8名、アイルランガ大学に9名、ガジャマダ大学に2名、チェンマイ大学に3名を派遣した。平成26~28年度には、コンソーシアム各大学に毎年1~10名の派遣、及びコンソーシアム以外の大学への派遣を計画している。

○ 外国人留学生の受入れ

平成25年度は、コンソーシアム各大学から1~8名の学生の受入を行なった。平成26~28年度も、コンソーシアム各大学、毎年2~8名の受入れを計画している。

	H24	H25	H26	H27	H28
学生の派遣	11	24	22	26	26
学生の受入	3	23	18	20	20

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

注) H24・H25は実績、H26以降は計画

○ 日本人学生の派遣を促進するための環境整備

ホームページ上での派遣先となる大学の情報提供や特命教員による派遣前教育・研修会を行うことで、充実した研修を行なうことができるようにしている。また、職員が研修予定先を訪問し、視察や現地教員との情報交換を行ない、得られた情報についても派遣予定の学生に情報提供を行なっている。

○ 留学生の受入を促進するための環境整備

双方向遠隔授業システムによる受入候補学生の事前インタビューにより、学生への情報提供を行なっている。受入期間中は、日本人学生チューターを採用し、留学生の学業・生活面のサポート体制を整えた。派遣予定の学生が当該国からの受入学生をサポートするようにしている。日本語・日本文化クラスを開講し、習熟度により3クラスに分けて教育を行っている。

■ 教育内容の可視化・成果の普及

○ 情報提供サイトの運営

ホームページ(<http://www.med.kobe-u.ac.jp/asean/index.html>)にできる限り多くの情報を掲載することにより、教育内容の可視化・成果の普及を行なっている。また、派遣・受入学生の体験レポートなどは、日本語と英語で同時に掲載し、広範囲に情報を発信するように努めている。